

現在の国分寺市ビジョンの良い点と改善点について、グループに分かれて意見交換を行っていただきます。誰もが見やすく分かりやすい基本構想とするための見直しポイントやレイアウト・デザインなどをお考えください。

【意見交換の流れ】個人検討 → グループでの意見交換 → 全体共有

■ 未来のまちの姿について

1 現在の「未来のまちの姿」の良い点（市の強み、計画の見やすさ・分かりやすさ等）

2 現在の「未来のまちの姿」の改善点（市の課題、計画の見やすさ・分かりやすさ等）

3 その他、気が付いた点

■ まちづくりの基本理念について

1 現在の「まちづくりの基本理念」の良い点（市の強み、計画の見やすさ・分かりやすさ等）

2 現在の「まちづくりの基本理念」の改善点（市の課題、計画の見やすさ・分かりやすさ等）

3 その他、気が付いた点

【参考：国分寺市総合ビジョン 抜粋】

市民・事業者等とともにまちづくりを進める上での共通の目標として、「未来のまちの姿」を次のとおり定めます。達成目標年度は、8年後の令和6(2024)年度とします。

魅力あふれ ひとがつながる 文化都市国分寺

「魅力あふれ」とは

名水百選のお鷹の道・真姿の池湧水群の「水」、武蔵国分寺跡等の「歴史・文化」、国分寺崖線周辺をはじめとした自然や新田開発から続く都市農業の「緑」、日本の宇宙開発発祥の地、新幹線の技術開発の地の「科学」など、国分寺には先人から受け継いだ様々な魅力があります。また、地域を支える「ひとの温かさ」、快適・便利に暮らせる「住み良さ」、市民・事業者等のアイデアと協力による「多様な子育て環境」など、国分寺は住んでこそ触れることのできる魅力にもあふれています。《魅力あふれ》には、これらの国分寺の魅力を一層高めていくことで、誰もが住みたいまち、住み続けたいまちを目指すという意味が込められています。

「ひとがつながる」とは

災害時の助け合い、子どもの育ち・子育て支援、高齢者の健康づくりなど、様々な場面において、ひとのつながり・地域のつながりの重要性が再認識されています。一方、国分寺には無限の可能性を持つ子どもや若者たち、豊かな才能を持つ市民・事業者等が多様な活動を行っています。これらの人々が新たに結び付くことができれば、更なるまちの活性化が期待できます。《ひとがつながる》には、市民一人ひとりが、世代、性別、職業などの枠を超えてつながり、強いきずなど活力のあるまちを目指すという意味が込められています。

「文化都市国分寺」とは

武蔵国分寺跡をはじめとする数々の歴史的遺産により、国分寺の文化的環境は、特色があり、かつ伝統あるものになっています。市は昭和49(1974)年に初めて基本構想を策定して以来、目指すべき将来像として「健康で文化的な都市」を掲げてきました。《文化都市国分寺》には、これまでの歴史を受け継ぎ、「国分寺」の名にふさわしい文化の薫り高いまちを目指すとともに、新しい文化の醸成を図り、まちの魅力として発信し続けていくという意味が込められています。

【まちづくりの基本理念】

- ①ともに進める：「オール国分寺」で地域課題の解決に取り組みます
- ②ともに高める：国分寺のあふれる魅力を市民・事業者等とともに高めていきます
- ③ともにつなげる：国分寺の豊かさを市民・事業者等とともに未来へつなげていきます

①ともに進める

社会経済環境が目まぐるしく変化し、また複雑化するなかで、地域課題の発見・解決を行政だけで行うことは困難になっています。市・市民・事業者等が情報を共有し、それぞれが能力を発揮して、参加と協働により、地域課題の発見・解決に取り組むことが必要です。市・市民・事業者等が一体となった「オール国分寺」でより良い国分寺のまちづくりを進めていきます。

②ともに高める

国分寺の自然や歴史、恵まれた立地環境は国分寺に住む誰もが魅力とを感じるポイントです。また、市内には、一部のひとにしか知られていない魅力がまだまだ埋もれている可能性があります。市民・事業者等とともに国分寺の魅力を発掘し、市内外に発信することで、更にまちの魅力を高めていきます。

③ともにつなげる

今後も国分寺が発展を続けていくためには、市民・事業者等と力を合わせ、地域の力を高めていくとともに、行財政改革を継続していくことが必要です。市民・事業者等との強いきずなを結ぶとともに、強固な財政基盤を築くことによって、国分寺の豊かさを未来へつなげていきます。

未来のまちの姿

まちづくりの基本理念